

文化財

1 令和5年度 主要な事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちの優れた生きざまを学びとり、あるいは環境の巧みな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そして子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨に則り、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

(1) 埋蔵文化財発掘調査

宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる令和5年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・次数	時代
1	大友氏館跡第48次	戦国
2	大友氏館跡第49次	戦国
3	津守遺跡第6次	戦国
4	城原C遺跡第2次	室町～戦国
5	東田室遺跡第12次	弥生

(2) 文化財保存整備事業

① 史跡大友氏遺跡保存整備事業

事業者 大分市

史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）令和元年度改訂版に基づき、短期整備として令和2年3月に「大友氏館跡庭園」の整備を終え、6月5日より一般公開を行っている。今後は中期整備として大友氏館跡中心建物「大おもて」の立体復元ほか、歴史文化観光拠点施設の整備を令和12年度の完成を目指す。

令和5年度の予定

- ・中心建物の立体復元プランの確定作業。
- ・中心建物域建造物及び外部施設（門・築地）等の復元の方向性について検討。



大友氏館跡庭園

② 国指定史跡大分元町石仏保存整備事業

事業者 大分市

大分元町石仏覆屋改修後の環境モニタリングを行うと同時に、2年の間隔をおいた脱塩処理を行う。元町石仏保存整備委員会を開催し、石仏の保存環境及び脱塩効果について評価・検討する。

③ 重要文化財後藤家住宅保存修理事業

事業者 大分市

後藤家住宅の保存のために行う屋根葺替及び部分修理工事。令和4年度から2か年事業の2年目で、完了予定は7月となる。

④ 重要文化財柞原八幡宮本殿ほか4棟保存修理事業

事業者 柞原八幡宮

柞原八幡宮本殿を含む5棟の解体及び半解体、部分修理工事を行う。

令和5年度の予定

- ・本殿の組み立て工事、宝蔵の土壁工事及び屋根工事、八王子社の補修工事及び屋根工事

⑤ 県指定史跡「曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑」保存整備事業

事業者 大分市

凝灰岩の劣化により崩落の危険性のある曲石仏の保存修理を行う。

令和5年度は、石仏保存修理に向けての課題を検討する委員会を開催し、これらの成果をもとにした保存修理の基本設計の策定を行う。

⑥ 府内城跡基礎調査事業

事業者 大分市

府内城跡の史跡整備や保全に資する基礎情報を得るため、「府内藩記録」などの文献調査を行い、府内城に関連する記事を翻刻し、報告書の刊行を進める。

令和5年度の予定

- ・「府内藩記録」の内、府内藩江戸屋敷で作成された文書を対象に翻刻作業を実施。

(3) 文化財災害復旧事業

① 県指定史跡「府内城跡人質櫓」災害復旧事業

令和4年1月発生の地震及び、同年9月の台風14号被害、同年12月の地震で被災した梁や漆喰壁等の修理工事を実施する。

② 県指定史跡「毛利空桑旧宅及び塾跡」災害復旧事業

令和4年9月の台風14号で被災した漆喰壁等の修理工事を実施する。

- ③ 市指定有形文化財「帆足本家酒造蔵」災害復旧事業

令和4年9月の台風14号で被災した漆喰壁等の修理工事を実施する。

(4) 各種委員会の開催

- ① 大分市文化財保護審議会
大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定、保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。
令和5年8月頃 令和6年1月頃 年2回開催予定
- ② 高崎山管理委員会
国指定天然記念物「高崎山のサル生息地」の適切な保全、その他の高崎山の適切な保存管理について検討することを目的とする。
第1回 令和5年7月頃 開催予定
第2回 令和6年2月頃 開催予定
- ③ 大分元町石仏保存整備委員会
大分元町石仏の塩類風化への対策と手法の検討を行う。
令和5年12月頃開催予定
- ④ 曲石仏保存整備委員会
曲石仏の保存修理の方針及びその方法並びに保存に関する整備方針等についての検討を行う。
第1回 令和5年7月頃 開催予定
第2回 令和6年1月頃 開催予定
- ⑤ 史跡大友氏遺跡整備検討委員会
国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡歴史公園として適切に整備し、効果的な活用方法を検討する。
令和5年8月・11月・令和6年1月頃 開催予定
- ⑥ 大友氏館跡建造物等復元整備検討委員会
大友氏館跡において発掘調査で確認された建造物等の復元内容について検討する。
第1回 令和5年6月頃 開催予定
第2回 令和5年9月頃 開催予定
第3回 令和5年11月頃 開催予定
第4回 令和6年1月頃 開催予定
- ⑦ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会
大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。
令和5年5月24日開催予定
- ⑧ 大分市伝統芸能伝承師認定委員会
大分市無形民俗文化財に指定された伝統芸能の伝承活動に従事する者のうち、高度の伝

統的技術・技法を保持する指導者を大分市伝統芸能伝承師として認定することにより、伝統芸能の伝承者育成及び伝承団体や地域の活性化に資することを目的とする。

令和6年1月頃 開催予定

(5) 普及・愛護の啓発活動

- ① 大友氏遺跡情報発信事業
ア FUNAI ジュニア検定
郷土に対する理解と愛着を深めるため、小中学生を対象に歴史検定を実施し、合格者は表彰する。また、合格者のうち希望者を大友氏遺跡等のジュニアガイドとして養成する。
- イ 大友宗麟副読本
市内の小学6年生に配布し、授業及びFUNAI ジュニア検定に活用する。
併せて、副読本をさらに詳しく説明した冊子「大友宗麟と府内のまち」を小学6年生に配布し、より詳しく学んでもらう。
- ウ 南蛮 BVNGO 交流館
大友氏遺跡の案内や最新情報の発信を効果的に行うため、平成30年9月30日に開館した。大友氏遺跡や大友宗麟の功績について、展示や映像等により紹介するとともに、大友氏遺跡を中心とした歴史・文化の情報発信拠点として、効果的な活用を図る。
- ② DXによる地域文化資源の継承及び活用事業
市内に所在する有形無形の文化財・史跡・伝統芸能・貴重図書・まちなみ・景観などの文化資材をデジタル化し、デジタルアーカイブとしてweb上で保存・公開することにより、文化資源の次世代への継承と、観光・地域活性化・教育などの分野への活用推進を図る。
令和5年度は、6月1日より「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」の一般公開を行う。
- ③ FUNAI 文化遺産整備基金事業
府内地域の文化遺産の保存と整備、歴史を活かしたまちづくりの実現のために基金を創設し、事業周知及び機運醸成を図り、文化遺産の整備を推進する。
令和4年5月より寄付金募集開始
- ④ 文化財防火デー
昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財防火訓練を展開し、文化財愛護思想の高揚を図る。
実施予定日 令和6年1月下旬頃

2 令和4年度指定・登録文化財

(1) 国指定史跡

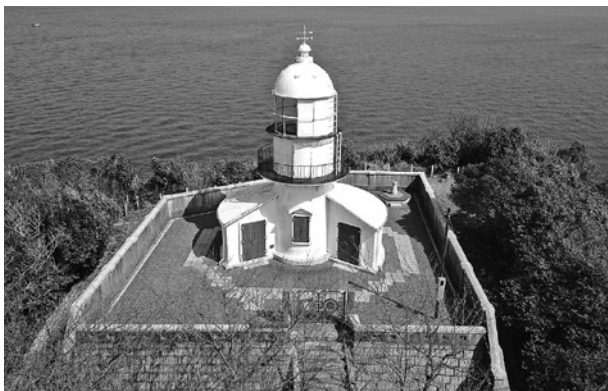
- ① 史跡「里官衙遺跡」
指定日 令和4年11月10日
7世紀末～8世紀初頭頃の海部評衙（海部郡の古代の役所跡）。



「里官衙遺跡全景」

(2) 国登録文化財

- ① 有形文化財「関埼灯台」
登録日 令和4年6月29日
明治時代に建設された貴重な鉄造灯台の一つ。



「関埼灯台全景」

- ② 有形文化財「旧大分県立大分図書館（アートプラザ）」
登録日 令和4年10月31日
建築家磯崎新氏の初期代表作。昭和41年に完成した鉄筋コンクリート造三階建、地下一階の図書館建築。



「旧大分県立大分図書館（アートプラザ）全景」

- ③ 記念物（名勝地関係）「黒ヶ浜及びビシャゴ岩」
登録日 令和5年3月20日
蛇紋岩が長年の研磨作用によって円礫となり、延長約350mにも及ぶ漆黒の礫海岸を形成した極めて稀少な海浜景観。


(3) 市指定文化財

- ① 有形文化財「合澤家旧蔵中世文書」
指定日 令和5年3月7日
中世文書 36点
戦国大名大友氏の水軍「大将」に任じられた若林氏をはじめとする、船を使った各地での海戦などの活動実態を記録した極めて重要な中世文書。

3 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館	所在地	〒870-0101 大分市鶴崎 381 番地の 1							
	電話	097-521-4893								
	休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）								
	概要	<p>鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。</p> <p>令和4年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>大人</td> <td>3,852人</td> </tr> <tr> <td>小人</td> <td>235人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,087人</td> </tr> </table>				大人	3,852人	小人	235人	合計
大人	3,852人									
小人	235人									
合計	4,087人									

施設名	池見家住宅	所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内							
	電話	なし（問合せは文化財課へ）								
	休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/3）								
	概要	<p>江戸時代、原村・久土村を統轄する白杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。平成3年佐野植物公園内に移築復元。</p> <p>令和4年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>大人</td> <td>4,121人</td> </tr> <tr> <td>小人</td> <td>1,888人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,009人</td> </tr> </table>				大人	4,121人	小人	1,888人	合計
大人	4,121人									
小人	1,888人									
合計	6,009人									

施設名	海部古墳資料館	所在地	〒870-0303 大分市大字里 646 番地の 1							
	電話	097-524-2300	FAX	097-524-2301						
	休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）								
	概要	<p>国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。平成12年4月開館。</p> <p>令和4年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td>団体</td> <td>2,234人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>11,466人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,700人</td> </tr> </table>				団体	2,234人	個人	11,466人	合計
団体	2,234人									
個人	11,466人									
合計	13,700人									

施設名	南蛮 BVNGO 交流館	所在地	〒870-0025 大分市顕徳町3丁目2番45号							
		電 話	097-578-9191	F A X	097-578-9191					
		休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土・日曜日の場合開館） 年末年始（12/28～1/4）							
		概 要	<p>国指定史跡「大友氏遺跡」の案内や最新情報の発信を効果的に行うため、大友氏館跡内に設置した仮ガイダンス施設。4つのゾーンがあり、工夫を凝らした展示や迫力ある映像等により大友氏遺跡や大友宗麟の功績について紹介するとともに、戦国時代の茶室をイメージした立体展示や当時をイメージした衣装体験が行える。</p> <p>令和4年度入館者数</p> <table border="1" data-bbox="979 696 1374 801"> <tr> <td>大 人</td> <td>12,695 人</td> </tr> <tr> <td>子 ども</td> <td>5,057 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>17,752 人</td> </tr> </table>				大 人	12,695 人	子 ども	5,057 人
大 人	12,695 人									
子 ども	5,057 人									
合 計	17,752 人									

施設名	帆足本家酒造蔵	所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次4381番地の1							
		電 話	097-597-4649	F A X	097-597-4649					
		休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/4）							
		概 要	<p>江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。（大分市指定文化財）</p> <p>令和4年度入館者数</p> <table border="1" data-bbox="979 1263 1374 1368"> <tr> <td>団 体</td> <td>165 人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>2,706 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,871 人</td> </tr> </table>				団 体	165 人	個 人	2,706 人
団 体	165 人									
個 人	2,706 人									
合 計	2,871 人									

4 大分市歴史資料館

所在地 大分市大字国分 960 番地の 1
電話 549-0880
FAX 549-5766



(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に向向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和 62 年 4 月 開館
敷地面積 4830.00㎡ 建築面積 1889.60㎡
延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

(3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館藏品等を公開している。

① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（1/10）、市内の石仏案内。

② 常設展示室

第 1 展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第 2 展示室 大友宗麟と中世、近世の府内。
民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年 3 回テーマに沿って展示。

④ 子ども歴史学習コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置している。

⑤ 豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を追体験しながらの散策が楽しめる。

(4) 企画展（令和 5 年度）

テーマ展示（令和 5 年度）

第 1 回「鎧兜の歴史と造形」

会期 3 月 4 日（土）～5 月 7 日（日）

内容 当館が保管する鎧や兜などを中心に展示し、その変遷と美術工芸品としての美しさを紹介する。



「展示風景」

第 2 回「大分と蹴球」

会期 令和 6 年 3 月 2 日（土）～5 月 6 日（月）

内容 蹴鞠からサッカーへとつながる大分の蹴球の歴史について、実物資料を用いて、幅広い世代に分かりやすく紹介します。

(5) 各種講座（令和5年度）

講座名	期間（開催日時）	定員	内 容	備考	
ふるさとの歴史再発見 ・ 前期	5月～8月 計4回	各指定の土曜日 午後2時～3時30分	60名	佐賀関の文化財や大友館の最新発掘調査について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・ 後期	10月～11月 計4回		60名	高崎山のサルや昔の道具について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・ 古文書入門編	10月～12月 計5回		60名	古文書の読み方講座 入門編	有料
ふるさとの歴史再発見 ・ 古文書応用編	1月～2月 計3回		60名	古文書の読み方講座 応用編	有料
ふれあい歴史体験講座（親子と一般）	原則毎月第1・3土曜日 午前9時30分～と午後2時～の2回	30～60名	管玉丸玉作り／土笛作り／勾玉作り／粘土埴輪作り／和風作り／土偶作り／土の鈴作り／かご編み／土面作り／火起こし明るさ体験 など	有料	
夏休みジュニア歴史探検（小4～中学生）	8月3日（木） 午前9時30分～午後3時30分	30名	小中学生を対象に、史跡をめぐる歴史探検などの活動を実施する	有料	
歴史教育研修（小中学校教職員対象）	6月22日（木）、29日（木）、 午後5時30分～午後7時 7月27日（木） 午前9時～12時	応募	館内見学／体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など	無料	
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後2時～	各60名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展ごとに各1回開催	無料	

(6) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）
観覧料 大人 210円（団体150円）
高校生 100円（団体50円）
中学生以下 無料
※団体は20名以上
※特別展開催中は別料金になることがある
講座室 第1講座室 1時間 160円
第2講座室 1時間 110円
※一室として利用することも可
※冷暖房を使用する場合は4割増しとする
交通機関 JR久大本線 豊後国分駅下車
徒歩2分

(7) 利用状況

① 利用者数

年度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平30	9,626	10,548	9,727	13,445	43,346
令元	9,798	9,268	10,837	14,530	44,433
令2	5,495	5,101	3,731	5,409	19,736
令3	8,801	4,627	10,006	5,419	28,853
令4	5,455	5,458	8,040	7,398	26,351

② 利用状況（令和4年度）

区分	観覧者		講座室利用者		移動講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大人	4,386	1,069	6,597	1,048	395	13,495
中学生	135	92	1,249	4,829	1,320	12,856
小学生	636	4,595				
合計	5,157	5,756	7,846	5,877	1,715	26,351

③ 各種講座参加者数（令和4年度）

講座名	延回数	参加者数	
ふるさとの歴史再発見	考古のコース	5回	117人
	歴史のコース	1回	29人
	民俗・文化史のコース	4回	101人
	古文書のコース	5回	119人
ふれあい歴史体験講座	16回	564人	
勾玉作り教室	中止	-	
七夕飾りを作ろう	1回	15人	
ジュニア歴史探検	1回	10人	
展示解説講座	3回	33人	
合計	35回	988人	

④ 企画展入館者数（令和4年度）

名称	期間	入館者数
令和4年春季テーマ展示 『松平殿様物語』	4月1日（金）～ 5月8日（日） （開館日数 33日間）	1,149人
令和4年夏季テーマ展示 『戦争の記憶』	7月9日（土）～ 9月5日（月） （開館日数 50日間）	2,945人
特別展 『大分の人形浄瑠璃』	10月15日（土）～ 11月20日（日） （開館日数 33日間）	3,317人
令和5年春季テーマ展示 『鎧兜の歴史と造形』	3月4日（土）～ 3月31日（金） （開館日数 23日間）	632人

(8) 調査研究（令和4年度）

- ① 令和6年度（第41回）特別展調査
令和6年度の特別展「大分モダン（仮）」の予備調査を中富くすり博物館で行った。
- ② 令和5年度テーマ展調査
令和5年度のテーマ展「大分と蹴球」の資料調査を杵築市立図書館で行った。
- ③ 文化財指定・登録に係る調査
「豊後絞り」並びに「一文人形及び型」について、文化財保護審議会で市登録文化財候補として報告するため、調査を行った。
- ④ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査
資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(9) 資料収集（令和4年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。令和4年度の主な収集資料は以下のとおりである。

- ① 購入資料
・市指定有形文化財「合澤家旧蔵中世文書」
12点
- ② 寄贈資料
・軍隊手帳や軍服など戦争関係資料 8件
・際鉦など民俗資料 4件

(10) 刊行物（令和4年度）

- ① 資料館ニュース NO.129～130
- ② 令和5年度 大分市歴史資料館総合案内